

平成30年度「実用化できる試験研究成果」目次（全29課題）

■ 普及事項 ■（計15課題）

生産者や技術指導者等が容易に利用することが可能で、普及定着により効率や利便性の向上などが期待され、普及定着を図る手法等が確立されている新たな成果

農業試験場

- 1 酒造好適米新品種「一穂積(いちほづみ)の育成 (平成30年) (1)
- 2 酒造好適米新品種「百田(ひやくでん)」の育成 (平成30年) (3)
- 3 側条施肥装置による農薬の水稲移植同時側条施用技術 (平成26～30年) (5)
- 4 酒造適性に優れる多収の水稲品種「ぎんさん」の目標収量及び収量構成要素等の策定 (平成23～29年) (7)
- 5 秋田県の主要水稲2品種における高密度播種と無加温出芽を組み合わせた育苗 (平成29～30年) (9)
- 6 エクシード剤はウンカ類と斑点米カメムシ類の防除に有効である (平成25～30年) (11)
- 7 秋田県版ネギ栽培マニュアルの作成 (平成20～30年) (13)
- 8 いぶりがっこに適する加工用ダイコンの新品種「秋田いぶりおぼこ」の育成 (平成14～30年) (15)

果樹試験場

- 1 秋田県におけるリンゴ新品種「錦秋」の特性 (平成22～28年) (17)
- 2 秋田県におけるリンゴ新品種「紅みのり」の特性 (平成22～28年) (19)
- 3 秋田県におけるブドウ「ブラックビート」の果実特性 (平成23～30年) (21)
- 4 ナシ園地(砂丘未熟土)における省力的な落葉処理方法 (平成28～30年) (23)
- 5 「シャインマスカット」における良質な房作りのためのジベレリン処理 (平成28年) (25)

畜産試験場

- 1 比内地鶏生産における出荷成績向上技術 (平成25～29年) (27)

林業研究研修センター

- 1 ナラ枯れの被害先端地における隠れた感染木の防除方法 (平成25～29年) (29)

■ 参考事項 ■ (計14課題)

○ 研究・技術開発に有効な成果

- ・普及定着を目的とした手法等として確立される、一步手前にある成果
- ・新たな知見として知らしめ、注意や取組等の喚起を促す必要がある成果
- ・研究者等が利用することで、効率や利便性が向上する新たな成果

○ 行政面に有効な成果

農業試験場

- 1 水稲湛水直播栽培(鉄コーティング)における苗いもち発生の可能性 (平成28~30年) (31)
- 2 良食味米品種の品質・食味から見た好適出穂期は出穂期後40日間の平均気温22℃を確保できる期間 (平成27~28年) (33)
- 3 秋田県の水稲奨励品種を判別するDNAマーカーセット (平成30年) (35)
- 4 飼料用イネ栽培ほ場における病害虫の発生実態 (平成28~29年) (37)
- 5 ネギのかん水の効果と栽植密度との関係 (平成28~29年) (39)
- 6 エダマメ「アップカット畝立マルチ播種機」における播種深度 (平成28~29年) (41)
- 7 春まきタマネギの定植時の植付深さの違いが生育と収量に及ぼす影響 (平成29~30年) (43)

果樹試験場

- 1 リンゴオリジナル品種に対する1-MCPの処理効果 (平成29年) (45)
- 2 リンゴ耐雪型樹形の側枝下垂主幹形はフェザーを利用することで早期に構成できる (平成26~30年) (47)
- 3 雪に埋もれた枝にかかる積雪沈降力(荷重)の範囲 (平成26~30年) (49)
- 4 軽労働で省力的に雪害を回避できる沈降力破断器の開発 (平成26~30年) (51)
- 5 リンゴ園における土着カブリダニ類の保護管理によるナミハダニの発生抑制効果 (平成24~27年) (53)

畜産試験場

- 1 比内地鶏の行動特性と生産性との関連 (平成25~29年) (55)

水産振興センター

- 1 閉鎖循環システムによるワムシ培養 (平成29~30年) (57)